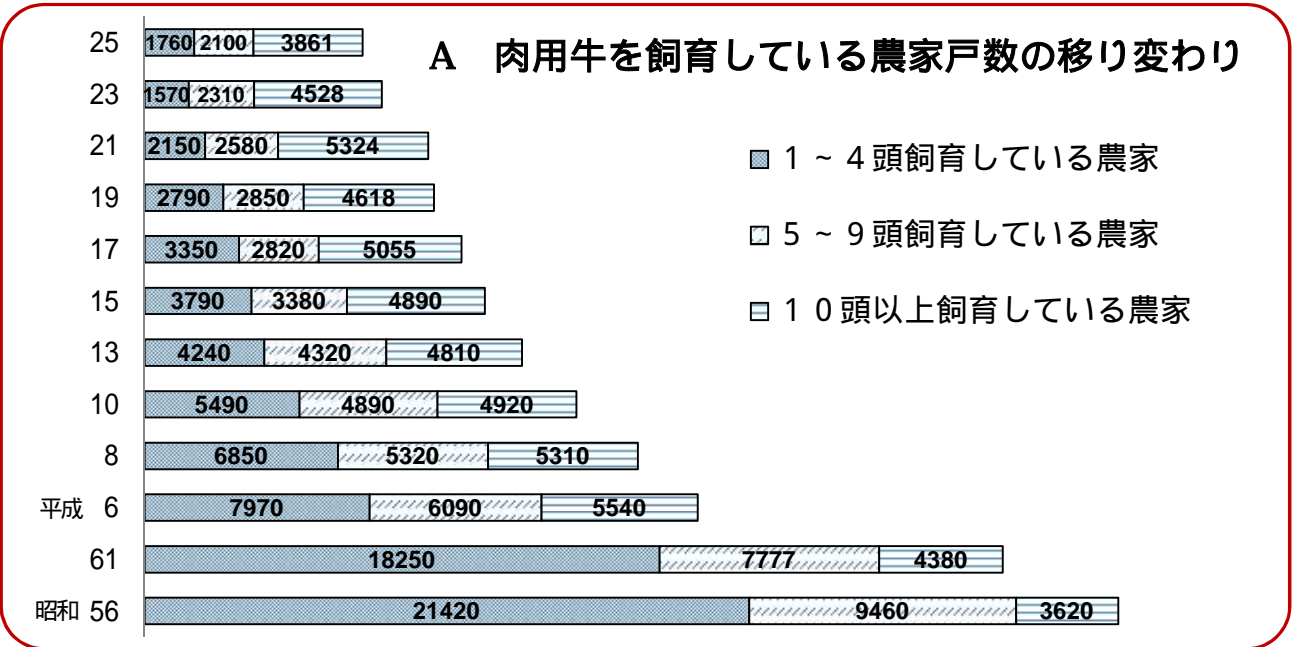


【小学校算数 活用問題 小6 - 】 **正答例**

(単元評価問題関連：小5 - 小6 - )

「宮崎県の畜産！」	( )組	氏名
	( )番	

けんしろうくんは、「宮崎牛日本一 2連覇<sup>れんぱ</sup>」を知り、宮崎県の畜産<sup>ちくさん</sup>について調べました。  
はじめに、肉用牛を飼育している農家について調べ、次の資料をつくりました。



(1) けんしろうくんは、この資料を見て、気づいたことがありました。  
次の( )の中にあてはまることばや数字を書きましょう。

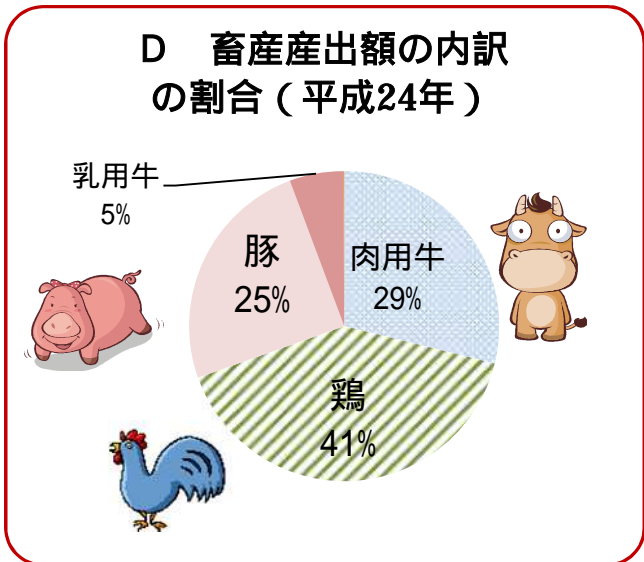
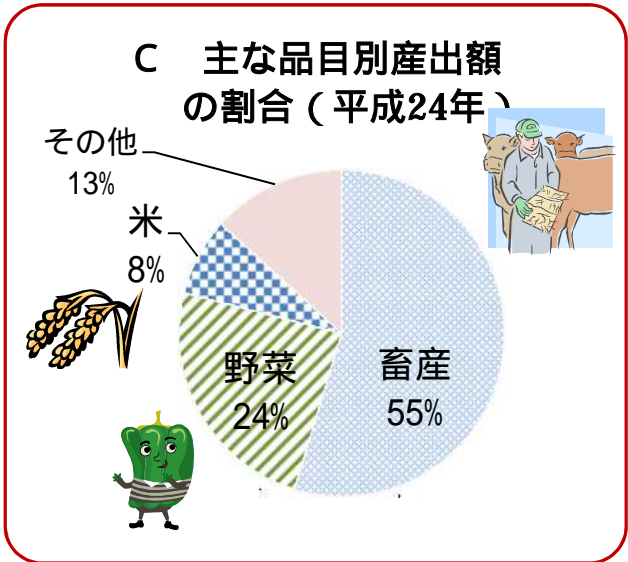


肉用牛を飼育する農家の数は年々、( **減少して** )いることが分かる。  
昭和56年を見ると、一番多い区間は( **1～4頭飼育している農家** )で、肉用牛を飼育している農家全体のおよそ(  $\frac{2}{3}$  または、60% )となっていて、昔は少ない牛を飼育する農家がとても多かったことが分かる。  
平成25年を見ると、一番多い区間は( **10頭以上飼育している農家** )で、肉用牛を飼育している農家全体のおよそ(  $\frac{1}{2}$  半分 または、50% )となっていて、最近は多くの牛を飼育する農家の割合が大きい。

次に、農業産出額(畜産や野菜など、農業によってできるお金)について調べました。

### B 畜産の農業産出額の移り変わり(宮崎県 単位：億円)

年度(平成)	17	18	19	20	21	22	23
畜産の産出額	1823	1843	1757	1869	1726	1595	1539
農業全体の産出額	3206	3211	3078	3246	3073	2960	2874



(2) けんしろくんは、畜産の産出額の平均を求めようと考えました。口蹄疫が発生する前の平成17年から平成21年までの5年間について、畜産の産出額の平均をもとめましょう。四捨五入で、億の位まで答えを求めましょう。

式	$1823 + 1843 + 1757 + 1869 + 1726$ $= 9018$ $9018 \div 5 = 1803.6$
---	--

資料の中から、5年間にあたる畜産の産出額を見つけて、「平均=合計÷個数」を使って、平均値をもとめよう。

答え	1804億円
----	--------

(3) さらに、けんしろくんは、口蹄疫の後どうなっているのかを調べるために、平成24年について、調べました。平成24年の農業全体の産出額は3036億円でした。畜産の中でも、日本一の宮崎牛に関係する平成24年の肉用牛の産出額を、計算して求めました。けんしろくんの計算した答えは、88044000000円です。けんしろくんの答えは、正しいですか。「正しい」か「正しくない」かのどちらかで答えましょう。また、そのわけをことばや式を使って説明しましょう。

答え	正しくない
----	-------

(わけ) 解答例1  
 まず、平成24年の畜産の農業産出額を求める。農業全体の産出額は、3036億円である。資料Cから、畜産は農業全体の55%にあたるのが分かる。  
 $303600000000 \times 0.55 = 166980000000$   
 次に、平成24年度の肉用牛の産出額をもとめる。資料Dから畜産の中で、肉用牛は29%にあたるのが分かる。  
 $166980000000 \times 0.29$  の式で求めることができる。  
 $166980000000 \times 0.29 = 48424200000$   
 だから、答えは 48424200000 円である。

(わけ) 解答例2  
 まず、平成24年の畜産の農業産出額は、資料Dから3036億円ということが分かる。次に、資料Cの円グラフから、畜産は55%にあたるのが分かる。  
 3000億円のおよそ5割として、およそ1500億円。  
 さらに、資料Dの円グラフから、肉用牛は畜産の29%にあたるのが分かる。  
 1500億円のおよそ3割。  
 それなのに、けんしろくんの答えは、およそ880億円となっており、1500億円のおよそ半分以上にあたる。ありえない。